デイジー教科書の利用申請状況報告

令和２年(2020年) 12月

公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会
参与　西澤達夫

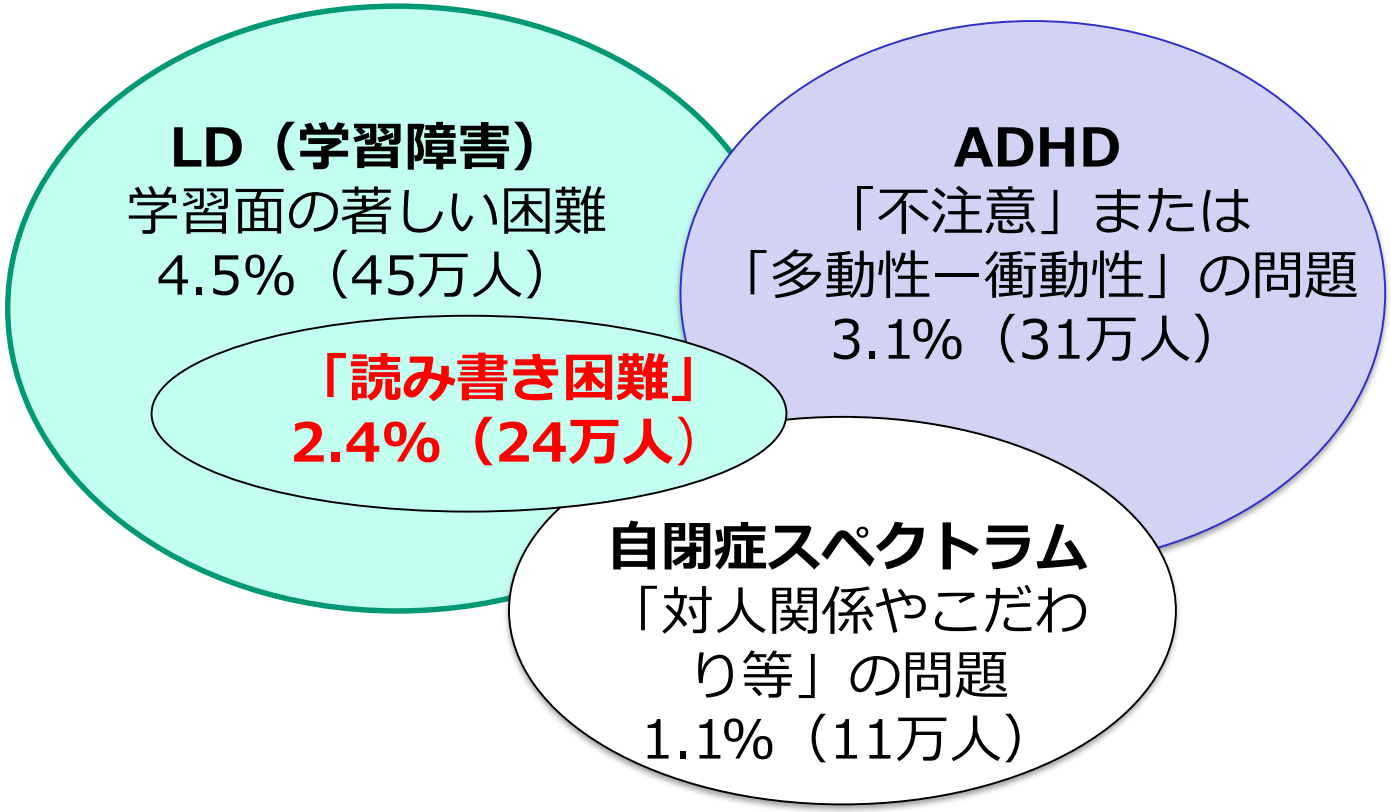
公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会は、平成20年度からボランティア団体等と協力して小中学校の発達障害など読みの困難がある児童生徒にデイジー教科書の製作・提供を行っています。

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

特別な支援を必要とする子どもたち

発達障害の可能性のある児童生徒数

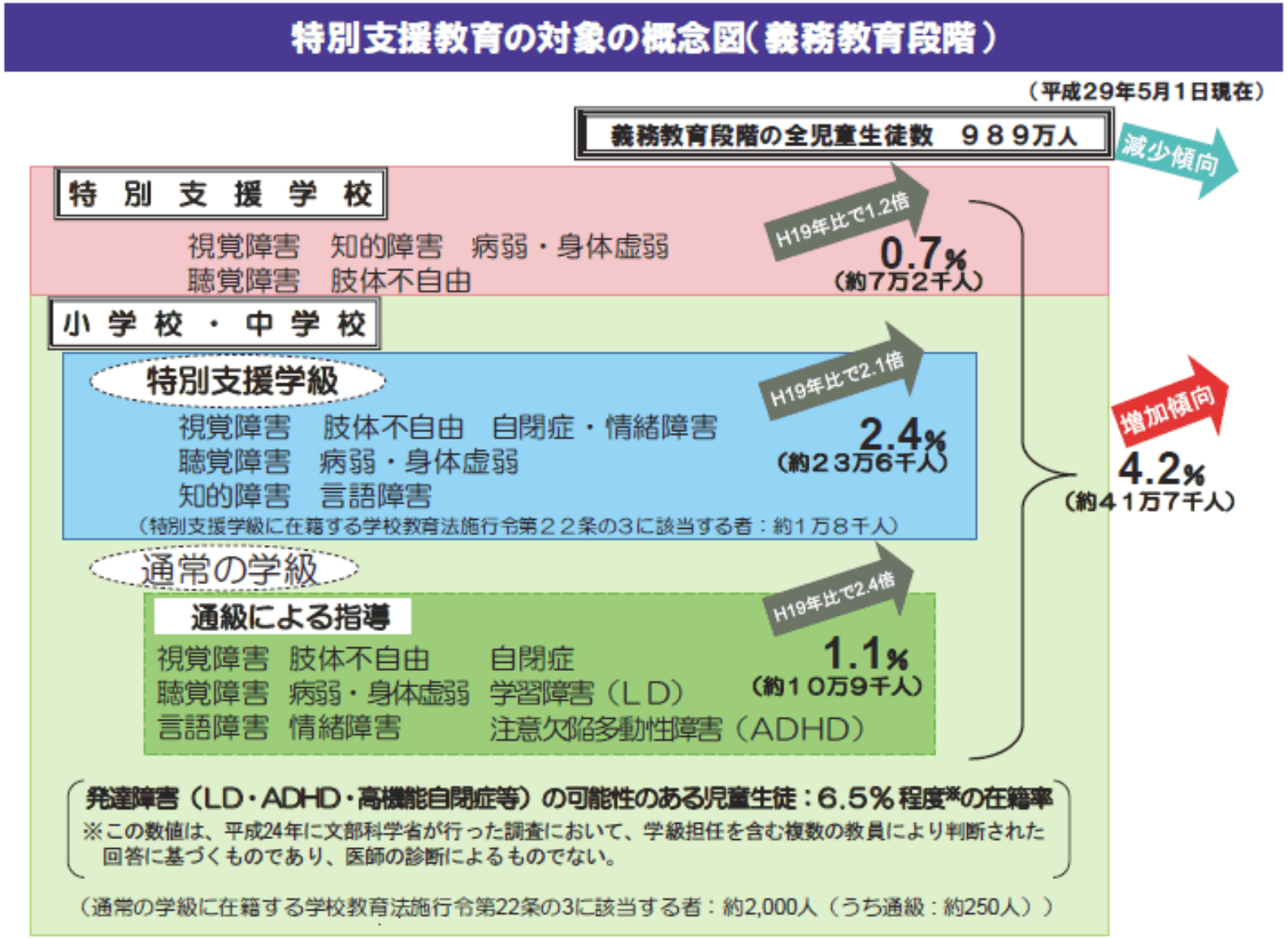
全国小中学校の通常学級在籍の約6.5%=65万人



平成24年度12月「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査について」文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

特別支援教育の対象の概念図（義務教育段階）

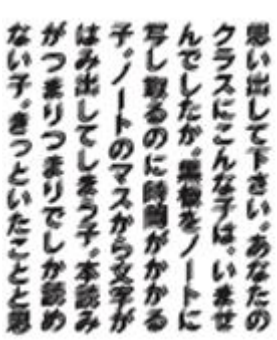


資料：文部科学省

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

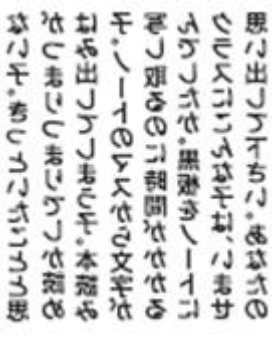
読みの困難さとは

文字がにじむ

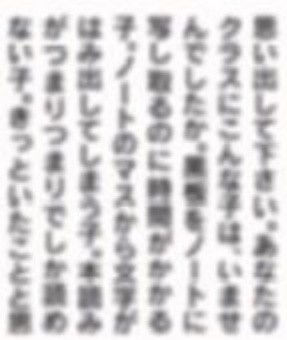


文字がゆらぐ

鏡文字になる



文字がかすむ



さらに見え方の問題だけでなく、
「記号」である文字を「音」として認識することが困難だったり、
名称を想起する速度が遅いことによって起こると言われています。

- □ 逐次読みになってしまう
- □ 勝手読みをしてしまう
- □ 単語の切れ目が判らない
- □ 漢字や熟語が読めない

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

デイジーで期待される効果＝読みの負担低減

兵十がいなくなると、こんは、ぴょいと草の中からとび出して、びくのそばへかけつけました。ちょいと、いたずらがしたくなったのです。こんはびくの中の魚をつかみ出しては、はりきり網のかかっているところより下手の川の中を目がけて、ぽんぽんなげこみました。どの魚も、「とぼん」と音を立てながら、にごった水の中へもぐりこみました。

感覚機能

視覚

聴覚

同期音声

情報の
処理・認知

現状（紙）

読むこと自体に一生懸命で
内容が入ってこない

デイジー（ICT）

読みの負担が減って
内容の理解に集中できる
・ハイライトで場所が分かる
・音声で効果的に伝わる

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

デイジー教科書の特長

- ハイライトされたテキストと、音声、画像が同時に表示され、どこを読んでいるかが確認できる
- 学習の進め方を考慮した順番に並べなおしてあるので、図や表が多い教科書も連続して再生すれば学習できる
  （拡大や縮小しても読み順で迷わない）
- 目次や見出しをつかって、読みたいページに移動ができる
- 教科書と同じルビに加えて、総ルビ版を提供
- 再生ソフトの機能により、個々のニーズに合った読み方が可能
  （文字の大きさや色、背景色、再生速度等）

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

現状（紙）とデイジーによる読み支援の比較

	現状（紙）	デイジー（ICT）
レイアウト	固定	可変：リフロー
フォント	固定	可変
文字大きさ、向き	固定	可変
背景色、文字色	固定	可変
読み上げ	－（代読）	録音音声、音声合成
注視	スリット	ハイライト

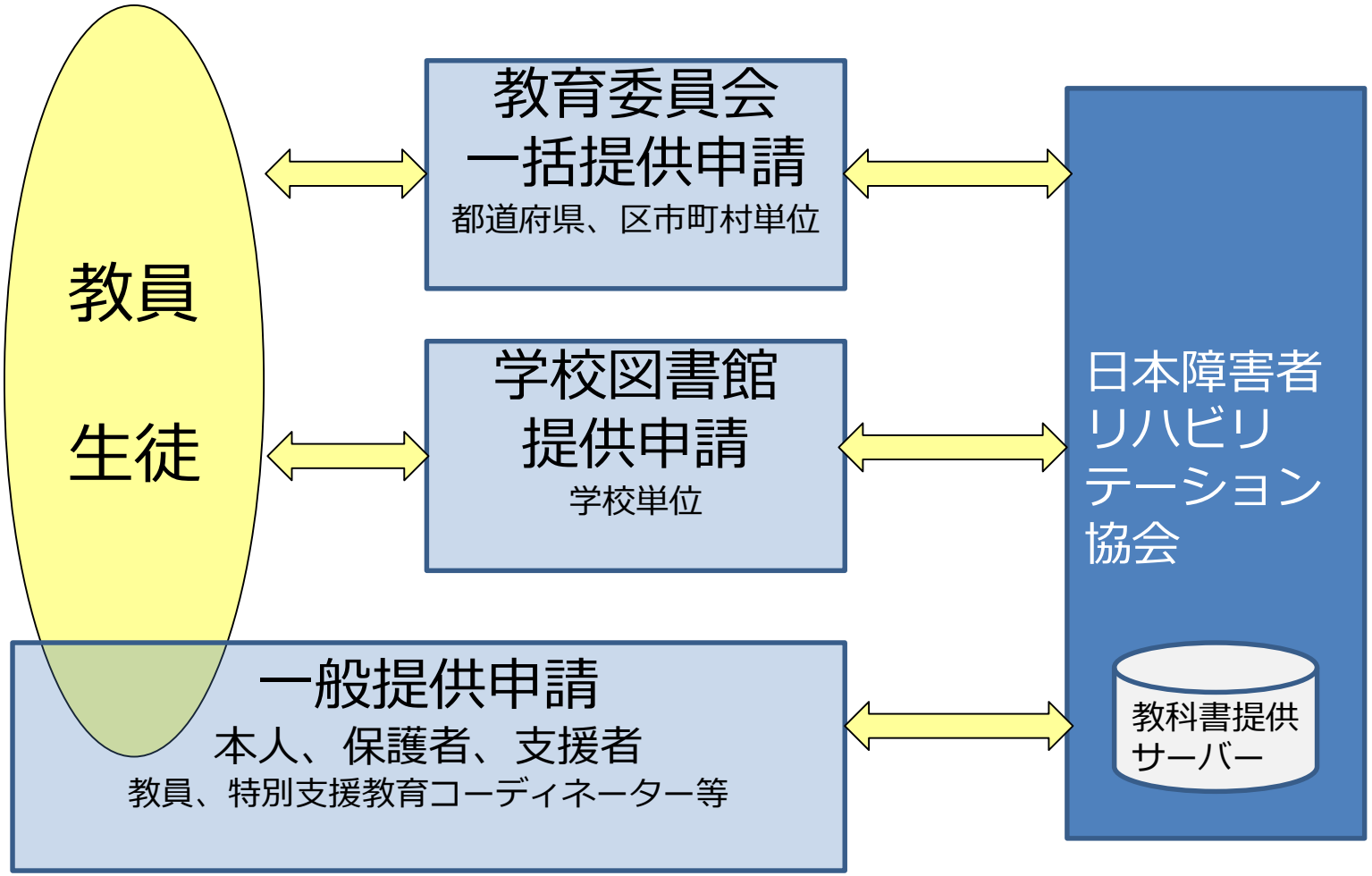
ICT：自由度、代替え手段が多く一人一人の困難さに応じたカスタマイズができる

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

デイジー教科書のホームページ、申請方法

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

デイジー教科書の申請、利用の流れ



申請手続きはホームページ（スマホもOK）で！⇒デイジー教科書で検索

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

デイジー教科書の申請条件

- 利用目的は、通常の印刷された教科書では読むことが困難な児童、生徒の学習用途に限定されます。
- 申請は、本人の他、保護者、教員、特別支援教育コーディネーター、教育委員会、支援者も行うことができます。
- 提供システムで、公開しているデイジー教科書のデータは、許可なく複製したり，第三者へ譲渡することは禁じます。
- 利用申請は年度ごといただく必要があります。申請した年度が終了しましたら、デイジー教科書のデータは利用者が責任をもって破棄してください。

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

デイジー教科書の活用事例

利用場所	使い方の例
通常の学級	• 丸読み、音読 • グループ学習
通級指導教室 特別支援学級	• 新単元の予習 • 音読 • 漢字の読み確認 • テスト、ドリル • タブレット操作習得
家庭	• 宿題の音読 • 予習

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

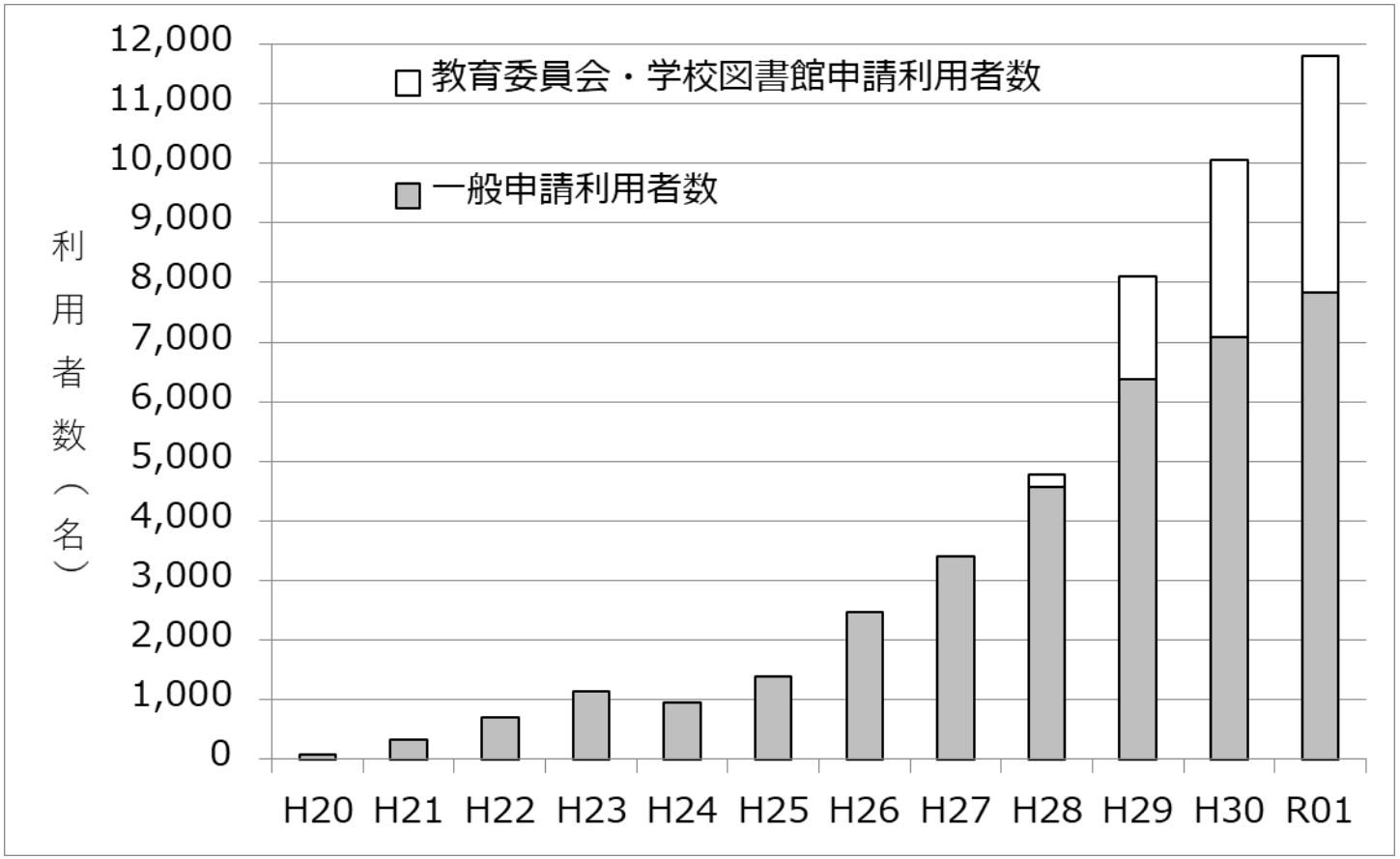
デイジー教科書の利用成果

一般利用者アンケート結果より

- 読みがスムーズになった
- 文節の区切りが上手になった
- 読み間違えが少なくなった
- 読むことへの抵抗感が減った
- 文章への理解度が良くなった
- 読める漢字が増えた
- 自己肯定感や自尊感情が増した

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

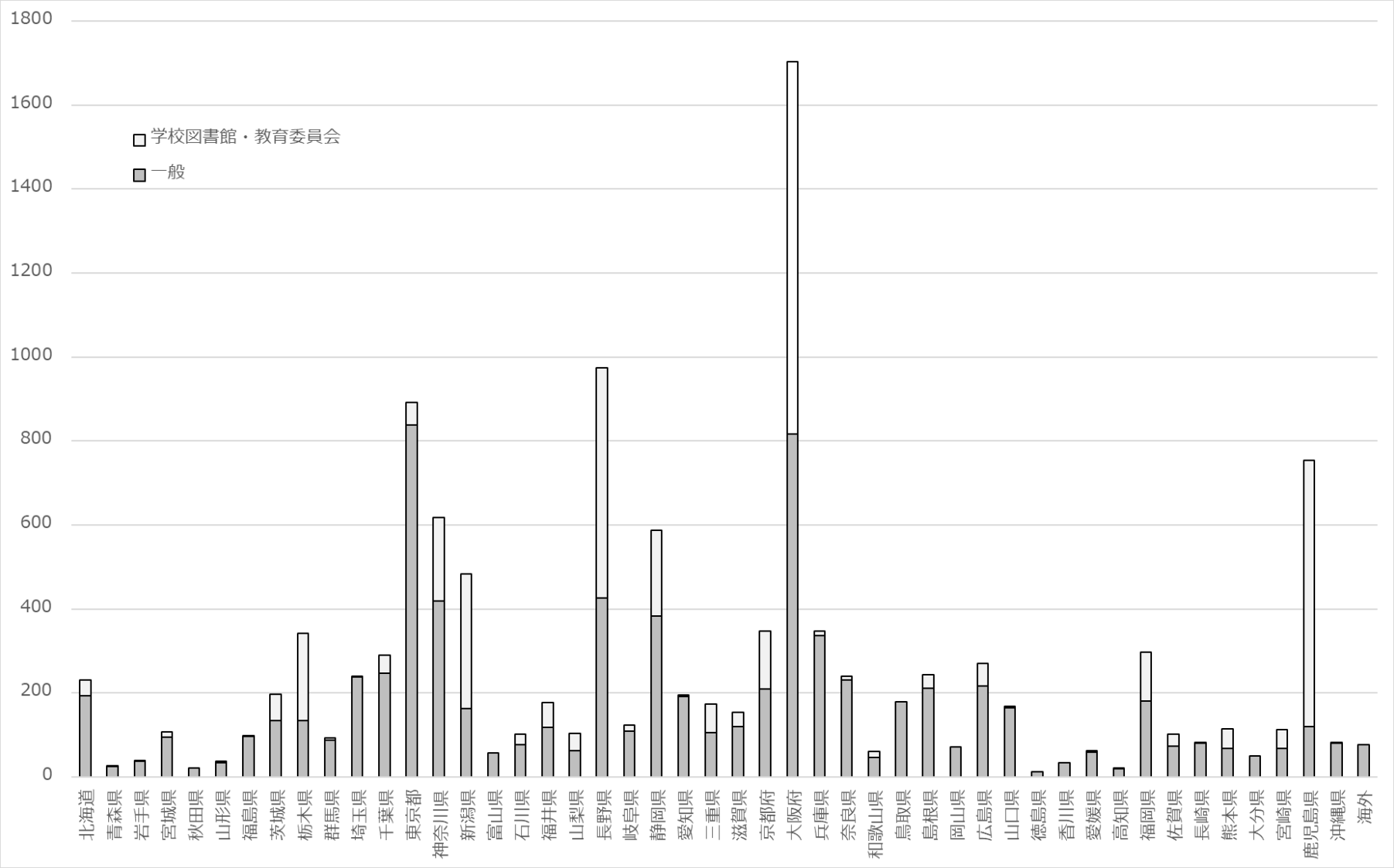
デイジー教科書の利用申請状況



	平成30年度		令和元年度
教育委員会、学校図書館申請：	2,949名	➡	3,973名
一般申請：	7,090名		7,832名
合計：	10,039名		11,805名

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

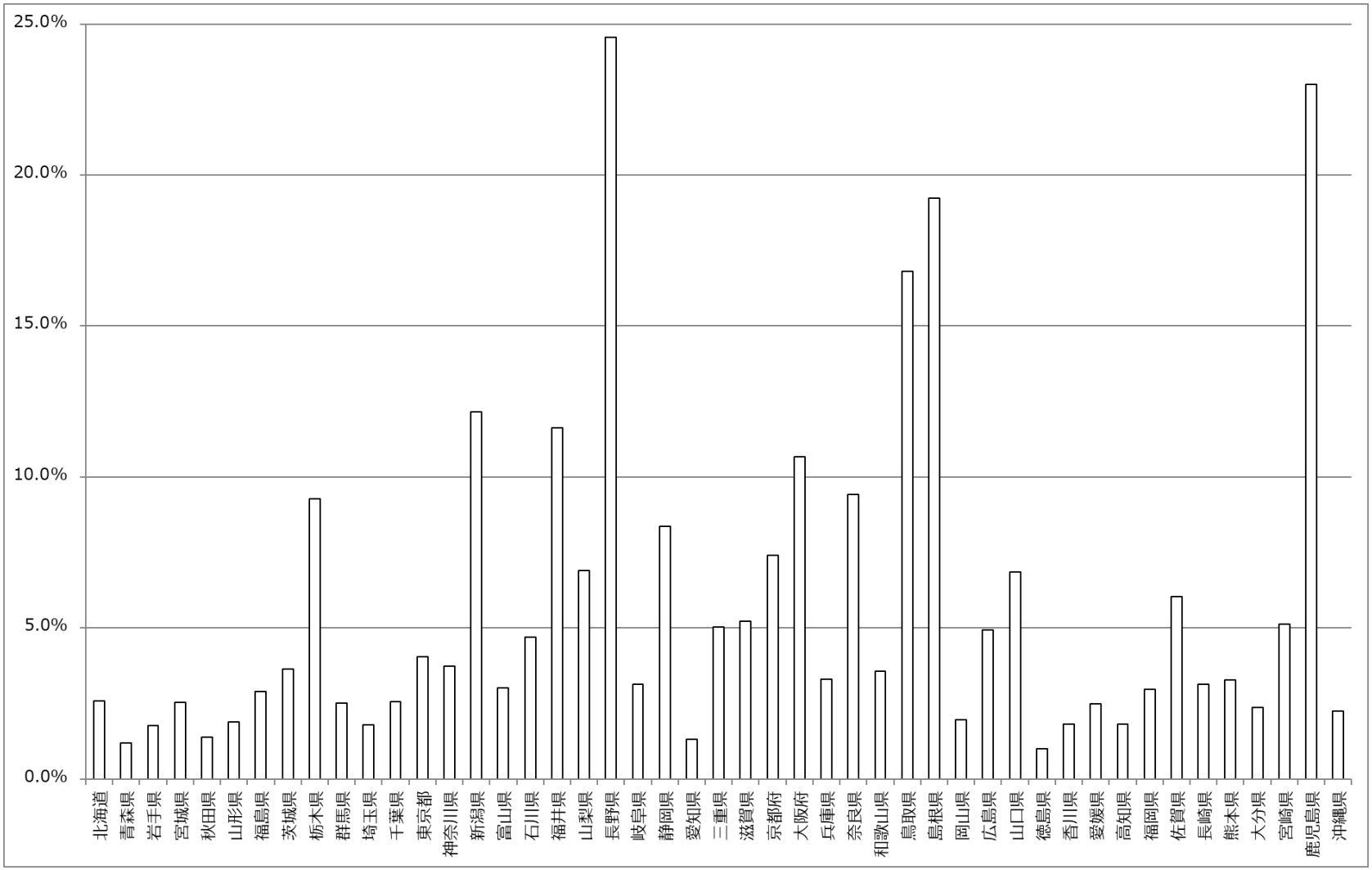
令和元年度都道府県別デイジー教科書利用者数



○内の数字は教育委員会申請数：計82

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

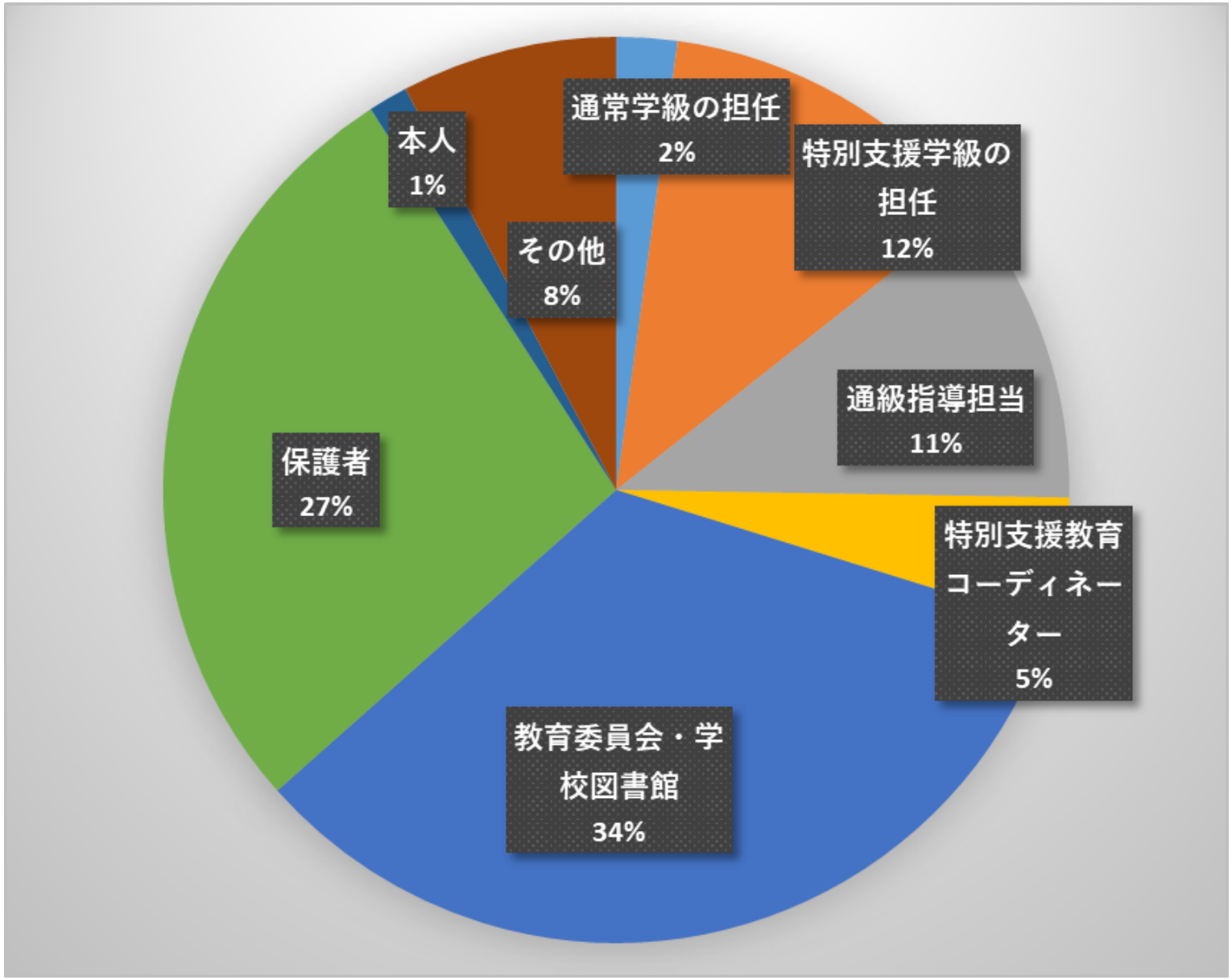
令和元年度都道府県別デイジー教科書普及率



普及率＝デイジー教科書利用者数／児童生徒数（H30年度：文部科学省統計資料）x 2.4%

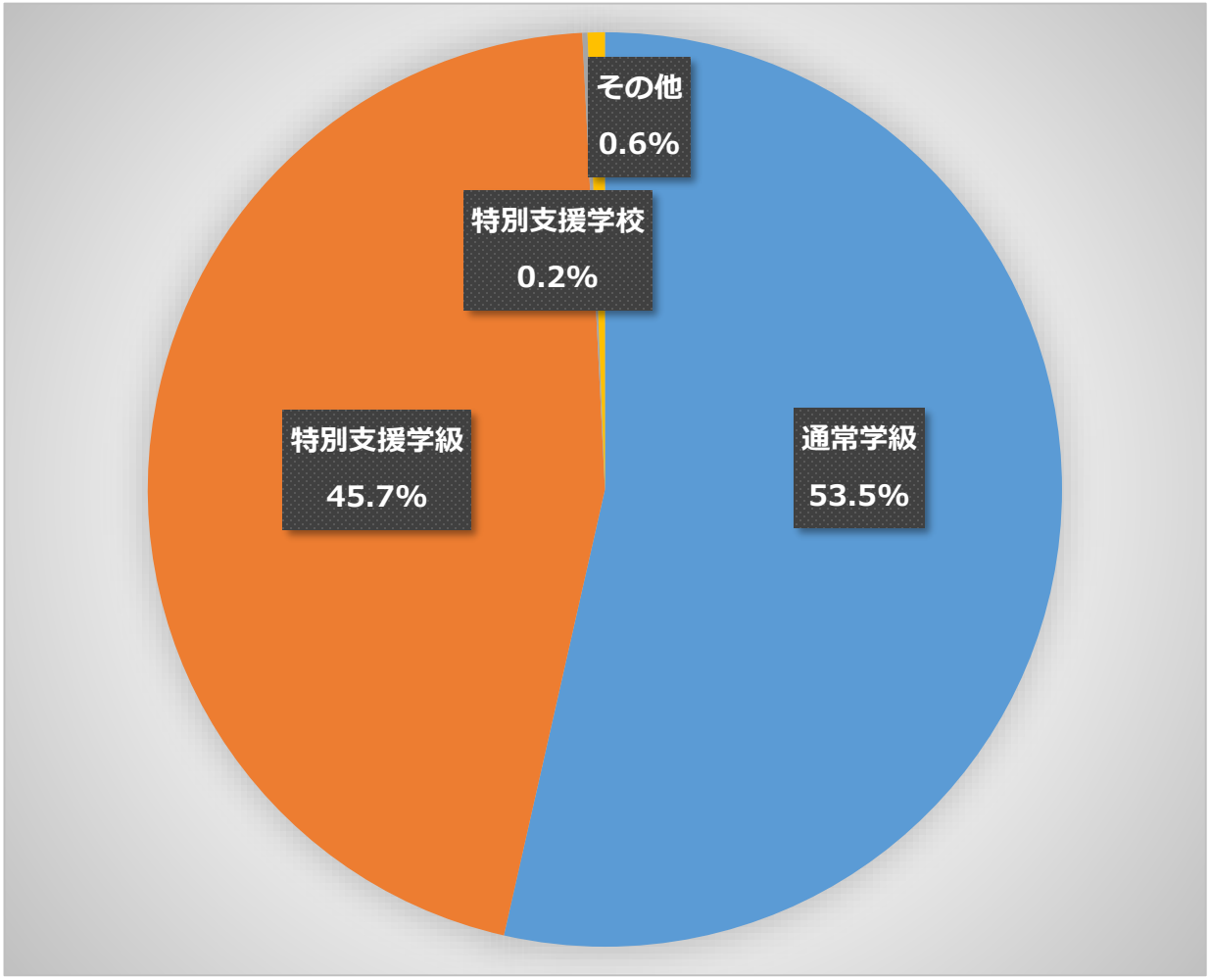
©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

令和元年度申請者内訳



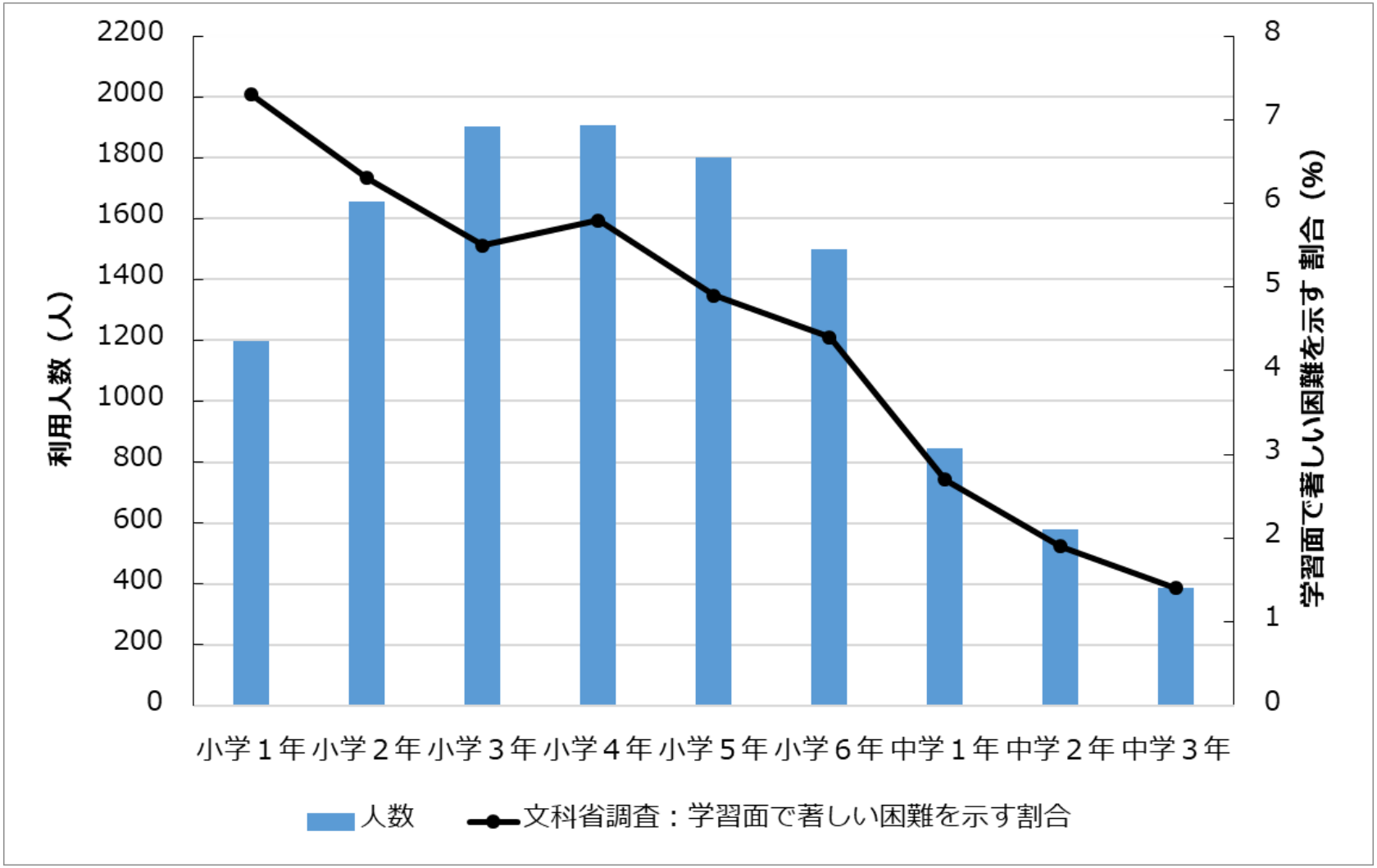
©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

令和元年度利用者所属学級訳



©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

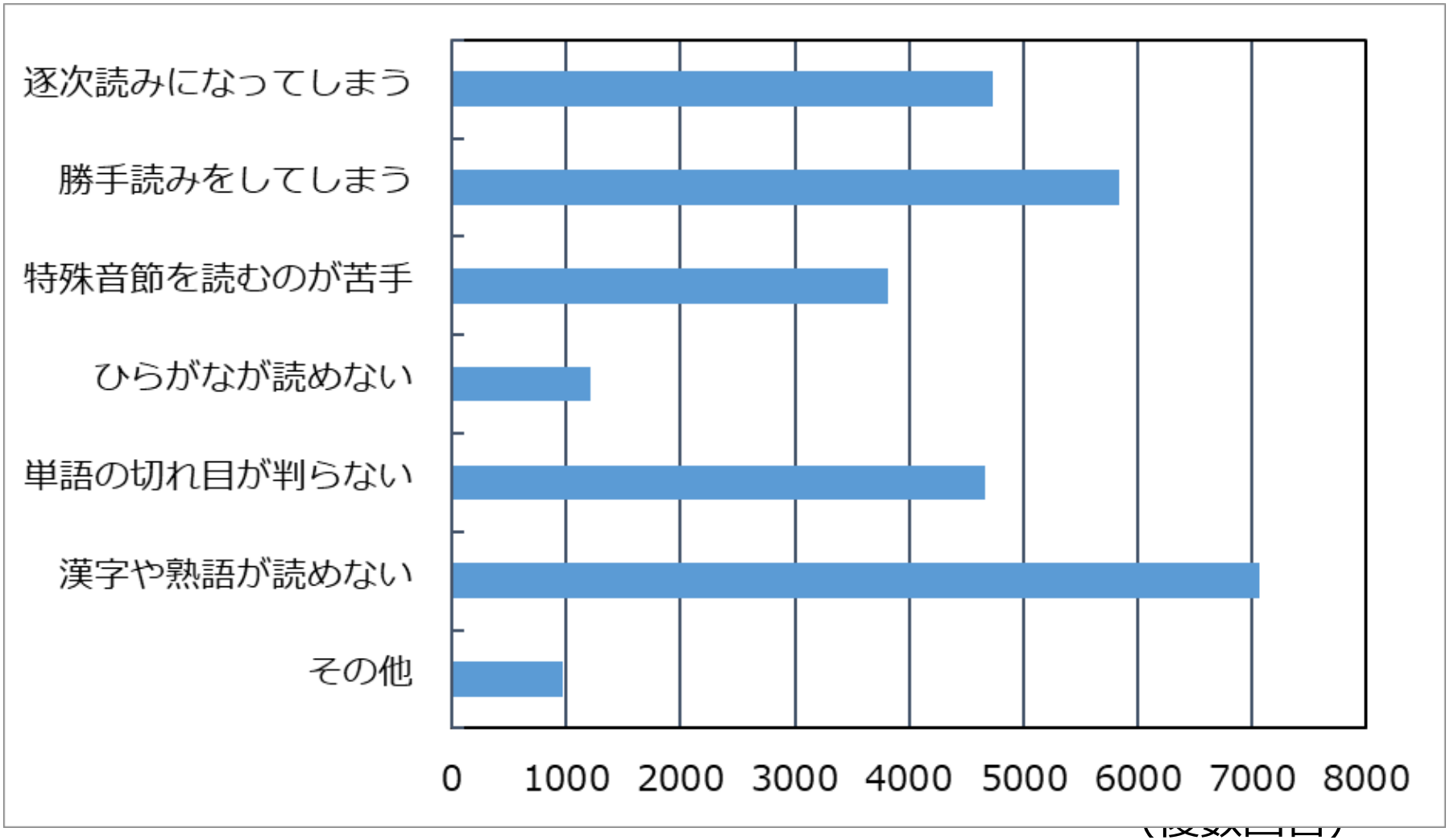
令和元年度利用者学年内訳



平成24年度12月「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査について」より学習面で著しい困難を示す割合を参考に提示

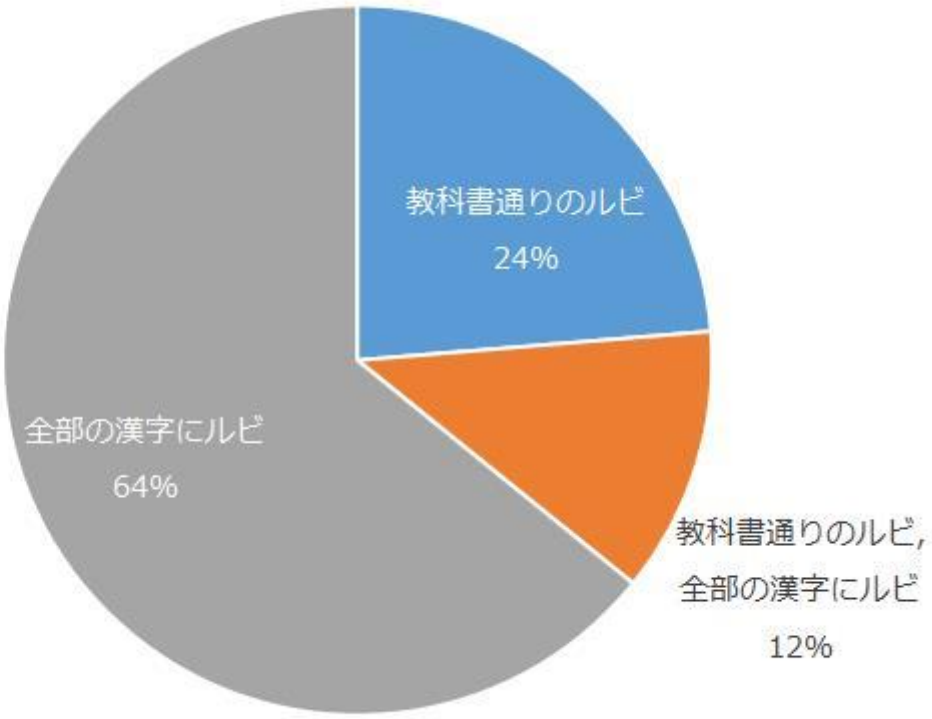
©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

令和元年度アンケート結果読みの困難さの状況



©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

令和元年度アンケート結果ルビの種類



©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

今後の課題

- 効果的な読みの支援としての認知が進み、令和元年度には利用者が約１万2千名になったが、普及率5%で限定的
- 都道府県別の普及率では、20%を越えているところと、1%程度に留まるところとの差が大きい。
→あらゆる機会を利用した周知活動
- 小学校低学年でのアセスメントから、読みの支援につなげていく仕組みとその定着が必要。
- 教科書以外の読みもの（教科書で推薦している図書等）のデイジーでの提供はまだ少ない。
  - 言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしていく読書活動が子どもにとって不可欠。→教科書だけでは不十分

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved

参考）教科書で推薦されている図書

- 小中学校で、約1,500冊の推薦図書

資料）国語教科書４年生（H30年度版）の状況

出版者	推薦図書
教育出版	・各単元：「本を読もう」 ・本を読もう：４年生で読みたい本
学校図書	・各単元：「本と友だち」 ・地いきの図書館を利用しよう
光村図書	・各単元：「この本、読もう」
東京書籍	・本は友達：四年生の本だなからすてきな本を探して読んでみよう
三省堂	・各単元：「わたしの本だな」 ・図書館へ行こう

©2020, Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities (JSRPD.) All Rights Reserved